

水田農業をめぐる情勢

1. 令和2年産米関係

(1) 相対取引価格動向 (令和2年12月末)

		単位:円/60kg、%			
産地	銘柄	2年産	元年産	2一元	2/元
福島	中通りコシヒカリ	13,677	15,360	▲ 1,683	89
	会津コシヒカリ	15,025	15,570	▲ 545	96
	浜通りコシヒカリ	13,995	14,985	▲ 990	93
	ひとめぼれ	13,821	14,924	▲ 1,103	93
	天のつぶ	13,116	14,461	▲ 1,345	91
全国	通年	15,001	15,720	▲ 719	95
(参考)新潟	コシヒカリ一般	16,773	17,359	▲ 586	97
注)包装込・税込価格					

(参考) 2年産福島県全体米価試算 (令和2年12月末累計)

		単位:円/60kg						
区分	銘柄	地域等	ウエイト		2年産	元年産	2一元	2/元
福島県	コシヒカリ	中通り	32	49	13,677	15,360	▲ 1,683	89
		浜通り	5	8	13,995	14,985	▲ 990	93
		会津	28	43	15,025	15,570	▲ 545	96
		計	66	100	14,286	15,421	▲ 1,135	93
		ひとめぼれ	21	/	13,821	14,924	▲ 1,103	93
		天のつぶ	14	/	13,116	14,461	▲ 1,345	91
		計	100	/	14,085	15,248	▲ 1,163	92
全国					15,001	15,720	▲ 719	95

(参考) 2年産米生産者手取試算 (令和2年12月末累計価格より試算)

区分	単位	金額	金額		
			2年産	元年産	2一元
全算入生産費	円/10a	A	114,370	114,370	0
物財費	円/10a	B	69,655	69,655	0
販売価格	円/60kg	C	14,085	15,248	▲ 1,163
流通経費	円/60kg	D	2,000	2,000	0
単収	kg/10a	E	544	540	4
生産者手取り	円/10a	F=(C-D)*E/60	109,571	119,232	▲ 9,661
「ナラシ」対策補てん	円/10a	G	0	0	0
収入計	円/10a	H=F+G	109,571	119,232	▲ 9,661
生産費との差	円/10a	I=H-A	▲ 4,799	4,862	▲ 9,661
物財費との差	円/10a	J=H-B	39,916	49,577	▲ 9,661

注)令和2年産米単収は、1.85mm以上(12月6日公表)で試算。

(2) 2年産米集荷・契約・販売進捗（令和2年11月末）

		単位：千ト、%								
区分	銘柄等	年産	集荷数量	契約数量	販売数量	契約進捗	販売進捗	契約残数量	販売残数量	
福島	中通コシヒカリ	2年産	40.20	13.00	3.50	32.34	8.71	27.20	36.70	
		元年産	40.80	12.30	3.20	30.15	7.84	28.50	37.60	
		2一元	▲ 0.60	0.70	0.30	2.19	0.86	▲ 1.30	▲ 0.90	
	会津コシヒカリ	2年産	28.10	27.00	1.30	98.09	4.63	1.10	26.80	
		元年産	32.60	28.20	2.60	86.50	7.98	4.40	30.00	
		2一元	▲ 4.50	▲ 1.20	▲ 1.30	9.58	▲ 3.35	▲ 3.30	▲ 3.20	
	浜通りコシヒカリ	2年産	4.40	4.40	0.50	100.00	11.36	0.00	3.90	
		元年産	4.80	4.50	0.30	93.75	6.25	0.30	4.50	
		2一元	▲ 0.40	▲ 0.10	0.20	6.25	5.11	▲ 0.30	▲ 0.60	
	ひとめぼれ	2年産	24.20	10.10	2.00	41.74	8.26	14.10	22.20	
		元年産	24.50	10.00	2.30	40.82	9.39	14.50	22.20	
		2一元	▲ 0.30	0.10	▲ 0.30	0.92	▲ 1.12	▲ 0.40	0.00	
	天のつぶ	2年産	18.30	7.50	2.20	40.98	12.02	10.80	16.10	
		元年産	17.40	6.20	1.70	35.63	9.77	11.20	15.70	
		2一元	0.90	1.30	0.50	5.35	2.25	▲ 0.40	0.40	
全体	2年産	127.00	67.80	12.60	53.39	9.92	59.20	114.40		
	元年産	134.80	66.60	13.20	49.41	9.79	60.20	121.60		
	2一元	▲ 7.80	▲ 1.20	▲ 0.60	3.98	0.19	▲ 9.00	▲ 7.20		
全国	2年産	2,438.00	1,840.00	385.00	75.47	15.79	598.00	2,053.00		
	元年産	2,322.00	1,848.00	443.00	79.59	19.08	474.00	1,879.00		
	2一元	116.00	▲ 8.00	▲ 58.00	▲ 4.11	▲ 3.29	124.00	174.00		
参考 新潟	コシヒカリ一般	2年産	133.30	105.10	18.70	78.73	14.01	28.40	114.80	
		元年産	131.30	115.90	23.80	88.27	18.13	15.40	107.50	
		2一元	2.20	▲ 10.80	▲ 5.10	▲ 9.54	▲ 4.12	13.00	7.30	

(3) 民間在庫（農家在庫を除く）の動向（令和2年11月末）

<全体>

区分		2年11月末	元年11月末	2一元
福島	当年産	172	198	▲ 26
	1年古米	49	35	14
	全体	222	234	▲ 12
全国	当年産	2,970	2,830	140
	1年古米	410	250	160
	全体	3,460	3,150	310
(参考)	当年産	305	294	11
新潟	1年古米	24	12	12
	全体	329	306	23

(4) 事前契約数量（令和2年11月末）

道県	2年産	元年産	2一元
北海道	204	209	▲ 5
青森	67	57	10
岩手	88	82	6
宮城	129	127	2
秋田	207	191	16
山形	81	80	1
福島	50	46	4
新潟	184	171	13
計	1,009	961	48
その他	470	465	6
全国	1,479	1,426	53

(5) 農産物検査実績（水稲うるち玄米・令和2年11月末）

単位：ト、%

区分	全国			福島		
	2年産	元年産	2一元	2年産	元年産	2一元
数量	4,044,475	3,929,110	115,365	241,193	233,590	7,603
コシヒカリ	1,202,554	1,196,801	5,753	121,522	127,008	▲5,486
ひとめぼれ	358,722	356,910	1,812	48,555	50,440	▲1,885
その他	2,483,199	2,375,399	107,800	71,116	56,142	14,974
ウェイト	121	100	21.0	100	100	0
コシヒカリ	29.7	30.5	▲0.7	50.4	54.4	▲4
ひとめぼれ	29.8	9.1	20.7	20.1	21.6	▲1
その他	61.4	60.5	▲0.9	29.5	24.0	5
1等比率	80.3	73.1	7.2	89.1	90.3	▲1.2
(水稲うるち)						
コシヒカリ	77.2	64.7	12.5	91.3	92.5	▲1.2
ひとめぼれ	90.4	76.7	13.7	90.9	89.8	1.1
天のつぶ	79.9	85.3	▲5.4	79.9	85.3	▲5.4

2. 令和2年度第3次補正予算・令和3年度当初予算決定内容等

(1) 令和2年度補正・令和3年度当初水田活用関連予算（概要）

単位：億円

項目	令和2年度補正		令和3年度当初	
水田活用の直接支払交付金			3,050	
水田リノベーション事業	生産性向上	270	/	
	機械・施設整備支援	20		
計	290			
麦・大豆生産性向上事業	生産性向上等	50		
	保管施設整備	10		
計	60			
合計	350			3,050

(2) 令和3年度当初予算「水田活用の直接支払交付金」変更点（概要）

- (1) 高収益作物等拡大加算（3.0万円⇒3.5万円/10a）
- 対象：地域農業再生協議会単位で増加した高収益作物等（高収益作物・新市場開拓用米・加工用米・飼料用トウモロコシ）面積
  - 基準年：令和2年産を基準
  - 配分時期：拡大計画にもとづき年度当初配分
- (2) 水田農業高収益化推進助成（加工・業務用野菜（2.0万円⇒3.0万円）/10a×5年間・高収益作物畑地化：10.5万円⇒17.5万円/10a）
- 都道府県が策定する水田農業高収益化推進計画にもとづき高収益作物等を導入する産地を支援
  - 高収益作物定着促進と高収益作物畑地化はセットでの取り組み要件
- (3) 都道府県単独事業への国による追加支援（上限5千円/10a）
- 都道府県が転換作物を生産する農業者を独自に支援する場合、農業者の拡大面積に応じて、都道府県支援額と同額で国が追加的に支援

### (3) 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業 (概要)

#### 1. 対象者

○水田 (直接支払交付金の対象水田) で対象作物を生産する販売農家・集落営農組織

#### 2. 対象作物

○令和3年産 (基幹作) の新市場開拓用米、加工用米、麦、大豆、高収益作物 (野菜等)

#### 3. 支援内容

○作物ごとに定める低コスト生産等の取り組み面積に応じ4万円/10a

#### 4. 要件・留意事項

- (1) 地域農業再生協議会が産地と実需者が連携して輸出や加工に取り組むプランを策定し、農業者がそのプランに位置付けられていること。
- (2) 農業者または農業者と出荷契約を締結する集出荷業者が実需者と販売契約を締結する計画を有すること。
- (3) 本事業で支援を受けた水田面積については、令和3年度の水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成および都道府県に対する産地交付金の取組みに応じた追加配分対象面積からは除外。

### (4) 水田麦・大豆産地生産性向上事業 (概要)

#### 1. 支援ほ場

○田 (水田活用の直接支払交付金の交付対象水田)

#### 2. 対象作物

○麦 (小麦・大麦・はだか麦) ・大豆

#### 3. 支援対象者

○農業者の組織する団体、地域農業再生協議会

#### 4. 採択要件

○都道府県・産地で「麦・大豆生産性向上計画」を作成すること。

#### 5. 支援内容

(1) 話し合い等を通じた団地化推進経費

(2) 営農技術等の導入

○生産性向上や需要に応じた生産に向け、技術・品種を導入する場合、内容に応じ15,000円/10a以内で定額支援。

(3) 機械・施設の導入

○生産性向上等に必要となる機械・施設の購入・リースを支援 (1/2以内、5,000万円未満の機械・施設を対象)。

以上

### <添付資料>

○令和3年産米の需要に応じた生産・販売に向けて (農林水産大臣談話)

○水田フル活用予算の全体像 (農林水産省)

○水田関係 R3 予算及び R2 第3次補正予算の概要 (農林水産省)

## 令和3年産米の需要に応じた生産・販売に向けて

令和2年12月21日  
農林水産大臣談話

米の生産については、平成30年産から生産数量目標の配分を廃止し、需要に応じた生産・販売を推進してきました。

今後も人口減少等により、残念ながら国内需要の減退が続くと見込まれる中で、令和2年産の需給については、需要減少に見合った作付面積の削減が進まず、さらに新型コロナウイルス感染症の影響等による消費減退も加わり、在庫の過剰に直面しています。

需給と価格の安定を図るためには、令和3年産の主食用米について、全国で過去最大規模の6.7万ha（平年作ベースの生産量に換算すると36万トン）もの作付転換が必要です。これが実現できなければ、需給と価格の安定が崩れ、危機的な状況に陥りかねません。まさに正念場を迎えています。

令和2年度第3次補正予算と本日閣議決定された令和3年度当初予算で3,400億円に及ぶ大規模な予算を計上し、令和3年産の水田フル活用に必要な施策を盛り込みました。その中で、輸出等の新市場の開拓や、近年、需要が高まりつつある国産麦・大豆、加工・業務用野菜等の高収益作物、加工用米の生産拡大などを支援してまいります。また、自然災害が頻発する中でも飼料用米に安心して取り組める環境を整備することとしています。

また、コロナ禍の対策として措置した事業も活用した米の消費拡大や、主食用米の長期計画的な販売といった取組にさらに力を入れていくことも欠かせません。政府としても引き続き関係者と連携して必要な対策を推進していく所存です。

産地や農家・生産法人、都道府県・市町村、集出荷業者、流通・販売事業者など全ての関係の皆様におかれましては、今こそ一丸となって、オールジャパンで、今回措置する施策を最大限活用し、需要に応じた米の生産・販売に積極的に取り組んでいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

主食用米はもとより、新市場開拓用米、麦・大豆、高収益作物や、加工用米、飼料用米など、いずれも需要に応じた生産・販売が原点であり、国民への食料の安定供給、食料自給率・自給力の向上には不可欠な要素です。

全国各地で関係者が創意工夫を行い、水田農業における所得の向上と地域の発展が実現されるよう、国としても環境整備に全力で取り組んでまいります。

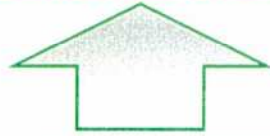
農林水産大臣

野上浩太郎

# 水田フル活用予算の全体像

令和2年産

水田活用の直接支交付金  
(R2当初)  
3,050億円



令和3年産

過去最大規模の水田フル活用予算 + ハード整備等関連予算  
(R2補正 + R3当初) (R2補正 + R3当初)

約3,400億円

水田活用の直接支交付金  
(R3当初)  
3,050億円

<関連予算>

- ・畑地化・汎用化等の基盤整備  
(農業農村整備事業(NIN)等)
- ・機械・施設等の導入支援  
(強担交付金、産地生産基盤パワーアップ事業等)
- ・栽培技術等の導入支援  
(持続的生産強化対策事業(園芸作物等の生産振興対策)等)

+

【追加対策】

- ・ハード整備等支援 20億円  
(輸出向けパックご飯製造ライン等)
- ・麦・大豆の安定供給支援 10億円  
(備蓄力強化のための保管支援等)

(R2補正 + R3当初)

+

前倒し支援(R2補正)  
270億円

麦・大豆対策(R2補正 + R3当初) 51億円



生産者に安心して転換に取り組んでいただけるよう、  
ソフト・ハード両面から一体的に支援

# 水田関係R3予算及びR2第3次補正予算等の概要

## 水田農業の生産振興対策

＜水田活用の直接支払交付金＞【当初：3,050億円】

### 1. 戦略作物助成

- 水田を活用して、麦、大豆、飼料用米等を生産する農業者を支援。

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物※1	3.5万円/10a
WCS用稲	8.0万円/10a
加工用米	2.0万円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、5.5万円～10.5万円/10a※2

※1 飼料用とうもろこしを含む

※2 標準単収以上の収量が確認された者には、自然災害等の場合でも、特例措置として、標準単価（8万円/10a）で支援

### 2. 産地交付金

- 各都道府県に資金枠を配分し、地域の載量で「水田収益力強化ビジョン」において対象作物や単価等を設定。下表の取組等に応じて配分額を加算。

加算内容	配分単価	加算内容	配分単価
飼料用米、米粉用米の複数年契約※3	1.2万円/10a	転換作物拡大加算※4	1.5万円/10a
そば、なたねの作付	2.0万円/10a	高収益作物等※5拡大加算※4	3.5万円/10a
新市場開拓用米の作付	2.0万円/10a		

※4 地域農業再生協議会単位で算定  
※5 高収益作物（野菜、果樹等）、加工用米、新市場開拓用米、飼料用とうもろこし

※3 3年以上の契約

### 3. 水田農業高収益化推進助成

- 「水田農業高収益化推進計画」に基づく、水田での高収益作物への転換等を支援。

支援内容	交付単価
高収益作物の新たな導入	2.0万円/10a (3.0万円※6/10a) × 5年間
高収益作物による畑地化※7	17.5万円/10a
子実用とうもろこしの作付	1.0万円/10a

※6 加工・業務用野菜等の場合 ※7 R5年度までの時限措置とし、その他の転換作物に係る畑地化も同様の単価で支援

### 4. 都道府県連携型助成

- 都道府県が転換作物を生産する農業者を独自に支援する場合に、当該支援の対象農業者に對して、前年度からの拡大面積に応じて、都道府県の支援単価と同額（上限：5千円/10a）で国が追加的に支援。

## 経営所得安定対策

畑作物の直接支払交付金  
（ゲタ対策）【所要額：1,986億円】

米・畑作物の収入減少影響緩和交付金  
（ナラシ対策）【所要額：655億円】

## 国産農産物等の販売促進対策

- 新型コロナウイルスの影響で販路を失った生産者、加工業者等の販売促進・販路の多様化等の取組を支援  
【補正：250億円】

赤字：新規・拡充事項

＜新市場開拓に向けた水田リノベーション事業＞【補正：290億円】

### 1. 実需者ニーズに応えるための低コスト生産等の取組支援

- 産地と実需者が連携して輸出や加工等に取り組みブランに位置付けられた農業者が、実需者ニーズに応じた価格・品質等に対応するために必要となる低コスト生産等に取り組む場合に、取組面積に応じて支援

○ 交付単価：4万円/10a

○ 対象品目：令和3年産（基幹作）の新市場開拓用米、加工用米、高収益作物（野菜等）、麦・大豆

※ 申請内容を踏まえて審査の上、予算の範囲内で支援対象が決定される補助事業

※ 本事業で支援を受けた水田の面積については、R3年度の水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成

※ 農業者が実需者と販売契約を締結する又はその計画を有していることが必要

※ 本事業は農業経営基盤強化準備金制度の対象外

### 2. 需要の創出・拡大のための機械・施設の整備支援

- プランに位置付けられた実需者が、輸出等の需要に応じた加工品の生産体制の強化や国産原材料への切替えのために必要となる機械・施設の整備を支援

○ 補助率：1/2以内

＜麦・大豆収益性・生産性向上プロジェクト＞

【当初：1億円】

【補正：60億円】

### 1. 水田麦・大豆産地生産性向上事業

- 水田麦・大豆産地が、団地化・生産性の向上に向け、「麦・大豆産地生産性向上計画」を作成して行う以下の取組を支援。
  - ・団地化の推進 地域の話し合い、ほ場の簡易な改修・点検等の経費を支援（面積に応じた上限額の範囲で実費を定額支援）

・営農技術等の導入 生産性向上や需要に応じた生産に向けた栽培技術の導入、品種転換等を支援（定額：技術に応じて1.5万円/10a以内）

・機械・施設の導入 生産性向上に必要な機械・施設の導入を支援（1/2以内）

### 2. 需要に応える安定供給体制の整備

(1) 麦・大豆保管施設整備事業

国産麦・大豆の安定供給に向けた保管施設の整備を支援（1/2以内）

(2) 麦類供給円滑化推進事業

国産麦の供給円滑化に向け産地・実需の一時保管経費等を支援（定額、1/2以内）

(3) 麦類利用拡大推進事業

国産麦の商品開発、マッチング等を支援（定額、1/2以内）